

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 8日

事業所名 はぐハウスⅡ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	活動やリハビリを行うスペースを確保出来ている。	環境整備を行う。
	2	職員の配置数は適切である	71%	29%	基準配置以上の専門職を配置している。	児童の様子や支援内容行事によって工夫していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%		常に安全、快適に過ごしていただけるよう整理整頓を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	感染対策を踏まえ使用した後はすぐに次亜塩素酸アルコールで消毒を行っている。	常に安全、快適に過ごしていただけるよう整理整頓を行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	86%	14%	毎月会議を行っている。	全職員に周知を務める。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	86%	14%	スタッフとアンケート結果について話し合い、日々の業務も改善に努めています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	71%	29%	ホームページに公開している。	全職員に周知を務めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	86%	14%	施設内外研修に参加しております。	参加出来なかったスタッフには資料を渡し周知してもらう。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	86%	14%	モニタリング用紙や日頃の会話よりニーズを把握している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	14%	独自のアセスメントツールを使用し個々の特性状況を元に作成している。	随時変更があれば更新する。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	発達支援を中心に特性に応じて具体的な支援内容を設定している。	
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	支援計画の内容に沿った支援を行っている。	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	86%	14%	保育士、理学療法士を中心に行っている。	
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	86%	14%	計画的に行っている。	全職員への周知に努めます。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	季節の行事で集団活動を取り入れている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	86%	14%	毎朝ミーティングを行っている。	参加出来ないスタッフは記録を残し、周知してもらう。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	86%	14%	翌朝のミーティングで申し送りをおこなっている。	
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	送迎時の申し送り等で情報共有を行っている。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	必要に応じてモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理者だけでなく状況に合わせ必要と考える者が参画している。	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	情報の取得や提供に努め連携をはかっている。	
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	他事業所、関係機関との情報共有連携に努めている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	86%	14%	医療連携用紙にて連携を得ている。	
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	71%	29%		送迎時などで情報共有を行っています。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	86%	14%	担当者会議での参加で情報共有を行っている。	
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	71%	29%	積極的に参加している。	
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	14%	86%		積極的に機会を持っていきます。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	29%	71%		積極的に機会を持っていきます。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時の申し送りで情報共有を行っています。	
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時説明を行っている。	
	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	スタッフと話し合い個々にあった支援計画を作成し、同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	モニタリングや相談の連絡があった際助言を行っている。	
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		相談があつた際には、職員感で話し合い、保護者に説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	86%	14%	お便りにて支援活動の報告を行っている。	LINEにて支援活動の様子を写真で送っている。
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	保護者と書面で確認し注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	個々に合わせた意思疎通し情報伝達に努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	71%	29%		検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	訓練は定期的に児童参加でおこなっている。	マニュアルをスタッフに周知してもらう。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	訓練は年間計画の中で立案し児童と一緒にやっている。	
	40	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	86%	14%	医療連携用紙更新時確認を徹底している。	
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	医師からの指示書をしていただいた際保護者に聞き取りを行っている。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	全職員が取り組み事例検討を行っている。	
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	施設内外研修を行っている。	
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	支援計画の記載と保護者への説明と確認同意のもと行っている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。